

## 在宅・福祉・介護委員会

### 2021年度介護保険-主治医研修会、認知症対策・在宅医療関連研修会の開催状況と次年度事業計画について討議

在宅・福祉・介護委員会が12月14日に開かれ、会合には県職員含め19名が出席した。馬瀬会長からの挨拶に次いで、中家高齢福祉課地域包括ケア推進班長から「日頃より富山県の厚生行政の向上に多大なご尽力いただき御礼申し上げます。高齢化の進展により2025年を見据えた対応が喫緊の課題であり、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制整備がますます重要となっており、皆様におかれましては専門家として立場から忌憚なきご意見をいただきたい。」と挨拶し、堀地担当常任理事の司会で進められた。今年度県内3会場にて開催した介護保険-主治医研修会の開催報告と中部医師会連合地域包括ケア特別委員会からの報告、認知症に対応する研修会、在宅医療に関する研修会の開催状況の報告等に続き、協議に入った。



#### 【報告事項】

#### 1. 2021年度介護保険-主治医研修会の開催結果について

各会場の担当医師会より各医療圏での参加者数や開催内容について説明。2021年度は8月に新川、富山・高岡は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて10月に延期し開催、砺波は中止となった。会員含め医療・介護関係者312名が参加した。担当医師会からは延期のさなかに厚生労働省から主治医意見書の変更点の通知があり、その旨について説明する機会を得たこと、医療圏企画として介護施設での新型コロナ対策についての講演等が有意義であったと報告があった。

#### 2. 中部医師会連合地域包括ケア特別委員会からの報告

炭谷副会長より説明。8月22日及び10月3日に各県医師会を会場としてWeb会議で開催され、富

#### ▽出席者▽ (敬称略)

司会 堀地 肇 担当常任理事

川瀬 紀夫(下新川) 美濃 一博(魚津)

安本耕太郎(中新川)Web 前川 裕(富山)

大野 太郎(射水)Web 吉田耕司郎(高岡)

加藤 夕(氷見)Web 佐藤 伸彦(砺波)

渡辺 多恵(小矢部)Web 南 眞司(会長推薦)

○県高齢福祉課地域包括ケア推進班

班長 中家立雄※高齢福祉課長代理出席

課長補佐 水上みどり

○県高齢福祉課介護保険係

係長 山崎 貴史 主事 西野 優希

馬瀬 大助会長 炭谷 哲二副会長

松岡 理理事 寶田 茂理事

山県医師会役員を含め中部7県より各担当役員が出席した。議題として1.施設における感染症対策と課題について、2.高齢者施設入居者の新型コロナワクチン接種における取組や課題について、3.多職種連携におけるICTの活用について、4.在宅療養者に対する災害時における避難所等の感染対策について、5.感染対策実施時におけるADL低下等の予防対策について(面会制限、ステイホーム等)、6.移送サービス(外出支援)・宅食サービス等の民間企業との連携について、7.多職種連携に関する研修会の開催について、8.介護報酬への要望について、9.各県の業務継続計画(BCP)作成状況について、が上げられ、各県の状況について報告さ

れた。1では、クラスター発生時に早期にクラスター対策班の介入やPCR検査等の実施により拡大防止を図る、PCR一斉検査は感染拡大時には意味があったが、ワクチン接種が進んだ現状では陽性者数が少なくなった、平時には専門家等による感染対策等の研修会や指導を実施することで対応力を高め、次の感染拡大に備えるとの意見があった。2では、8月時点で希望者にはおおそワクチン接種を完了している県が多く、また、認知症等の方から接種の同意書の取り付けが困難なことや状態が悪い方への接種をどうするか判断などの課題があったことが報告された。3では、各県ともにICTを用いた会議が多く開催されるようになった。富山県では統一されたシステムはないが、介護関係の連携・連絡ネットワークが設立され、情報共有等がなされていると紹介された。4では、富山県では災害が少なく、統一された対策は作成されていないが、県の防災訓練では感染症対策も含めた内容で実施された。5では、施設入居者と家族の面会制限が緩和され、ガラス越しの面会やオンライン面会など感染対策をしつつ面会ができるようになってきた。6では、高齢者の運転免許証の返納などより、交通機関の移送サービスや宅食サービスは市町で行われていることが多いこと、富山県でも山間部でなくとも移動式マーケットがあり、需要がある。7では、研修会の開催はWebを用いたものが増えている。8では、新型コロナが収束しても感染対策に関する経費がゼロになることはないため、基本報酬の引上げについての意見が各県からあった。9の各県のBCP作成状況については、今年度は努力義務となっている。国が示しているガイドラインはかなり煩雑で手間もかかるため簡略化についての意見があった。

### 3. 認知症に対応する研修会の開催状況について

松岡理事より、2021年度の認知症に対応する各研修会の開催状況について説明した。かかりつけ医認知症対応力向上研修会は2019年度より開催回数が2回から4回となったが、昨年度は新型コロ

ナの影響によりWeb併用で2回開催、今年度についても年度内にWeb開催する予定である。病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修会については今年度3回開催し、1病院では系列グループ病院をオンラインで繋ぎ、多くの受講があった。

### 4. 在宅医療に関する研修会の開催状況について

堀地常任理事より、2021年度の在宅医療に関する研修会の開催状況について説明した。研修会は富山県在宅医療支援センターにて10月、11月、12月に開催し、今後は2月3日に「在宅医療スキルアップセミナー」、2月17日に「富山県在宅医療支援センター講演会」、3月12日に「富山県在宅医療・本人の意思決定支援事業成果報告会」の開催を予定しており、参加を勧奨した。

#### 【協議事項】

### 1. 次年度事業計画（介護保険-主治医研修会等）について

次年度の介護保険-主治医研修会の開催計画について協議した。この結果、2022年度も全4会場として今年度同様に各医療圏で開催する。開催時期は8月を中心として各医療圏担当医師会が日程調整することとなった。また、同時配信でなくてもWebを活用し実施することにより、一人でも多くの方に受講いただけるよう柔軟に対応したいとされた。

#### その他

委員からは、超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者の支え手が足りなくなる。住民が支える街づくりへの取組みが重要であり、先を見通して対策を講じていかなければならない。今後は独居高齢者への対応や訪問看護・訪問介護の質の高い人材の育成、システム作りが必要である。医師からの積極的な意見発信をお願いしたいとのご意見があった。また、高岡医療圏で認知症患者の受診および入院が困難な事例の発生が問題となっており、他医療圏で対応しているとの報告があった。精神科病床抑制政策の影響も含め今後の状況を見守る必要がある。